

## 対応車種一覧（BYD Auto Japan 株式会社）

EV用コンバータ（JH-WE2301）と対応する車種の一覧を掲載しています。

- 接続可能車種および各項目については下記をご確認ください。
- 今後発売される車種については、全てが接続できるわけではありません。対応車種は、今後も順次追加してまいります。
- EVの機能や名称等に関して不明なものがある場合はご使用になる前に、必ずEVの取扱説明書をご確認ください。
- EV接続中は車両側でも各種システム（バッテリー保護機能等）を動作させるために、電力を消費する場合があります。消費をおさえたい場合には、EVと接続解除して、充放電コネクタをEVの給電口から取り外してください。
- 車両に表示される充電電力/放電電力とマルチエネルギーモニタに表示される充電電力/放電電力は計測箇所が異なるため、値は一致しない場合があります。

### ● 特定車種設定\*

マルチエネルギーモニタの「V2H設定」画面から、「充電上限抑制」「自動EV接続」を以下の組み合わせに設定してください。

設定項目	設定	機能
充電上限抑制 <sup>※2※3</sup>	有効	EV側で設定されている充電上限に達する前に充電が停止する機能です。ただし、本機能はEVの手動充電中は無効となります。
自動EV接続	有効	充放電コネクタの自動ロック機能がある車種について、その機能を「有効」または「無効」に設定できます。

\*本設定をご利用の際はV2Hシステムのソフトウェアバージョンアップが必要な場合があります。

### ■ BYD Auto Japan 株式会社

車名	型式	年式	総電力量 <sup>※1</sup>	充電上限 <sup>※2※3</sup>	放電下限 <sup>※4</sup>	停電時起動用ケーブル	自動ロック機能有無 <sup>※5</sup>
BYD ATTO 3	ZAA-SC2EXSQ	2023年式～	58.56kWh	約100%	約15%	不要	あり
BYD DOLPHIN	ZAA-EM2EXSF	2023年式～	44.9kWh	約100%	約15%	不要	あり
BYD DOLPHIN Long Range	ZAA-EM2EXSQ	2023年式～	58.56kWh	約100%	約15%	不要	あり
BYD SEALION 7	ZAA-UKXYT	2025年式～	82.56kWh	約100%	約15%	不要	あり
BYD SEALION 7 AWD	ZAA-UKXYA	2025年式～	82.56kWh	約100%	約15%	不要	あり
BYD SEAL <sup>※6</sup>	ZAA-EKXYC	2024年式～	82.56kWh	約100%	約15%	不要	あり
BYD SEAL AWD <sup>※6</sup>	ZAA-EKXYA	2024年式～	82.56kWh	約100%	約15%	不要	あり

BYD SEALION 6	7LA- SA3XYE	2025年式～	18.3kWh	約100%	約25%	不要	あり
BYD SEALION 6 AWD	7LA- SA3XYG	2025年式～	18.3kWh	約100%	約25%	不要	あり

- ※1 総電力量はV2Hシステム接続時の実使用可能容量とは異なります。
- ※2 充電上限まで充電されると自動的にEVのコネクタロックが外れ未接続状態になり、車両からの放電を行うためには改めて接続をする必要があります。  
コネクタロックが外れないようにするために、特定車種設定から「充電上限抑制」の設定をしてください。
- ※3 充電抑制機能を有効にした状態で100%まで充電を行いたい場合は、マルチエネルギーモニター上の[手動充電]ボタンを押して手動充電を行ってください。  
ボタンを押しても充電されない場合は、以下操作をすることで手動充電が可能です。  
【マルチエネルギーモニターで手動充電に切り替える場合】
  1. 「充電上限抑制」の設定を無効にしてください。
  2. EVの接続を一度解除し、再度EVを接続して手動充電を行ってください。  
(手動充電完了後は再度「充電上限抑制」の設定を有効にしてください。)【EV用コンバータで手動充電に切り替える場合】
  - ・「自動運転」ボタンを長押しし、手動充電に切り替えてください。
- ※4 EVの電池保護ならびにV2Hシステムの保全のため、記載の放電下限近くまで到達した時点で放電を停止します。  
電池残量が放電下限を下回っている時に充電する際は、カーエアコンをオフにして充電をおこなってください。  
車載電池の保護のため、EV接続ができない場合があります。
- ※5 充放電コネクタを接続後、運転開始操作なしでEV接続が可能となる機能になります。太陽電池モジュールで日中発電がなく蓄電池もない場合、本機能は無効となります。  
EVがスリープモードに移行している場合、自動ロック機能は利用できません。EV用コンバータ本体側面の[自動運転]ボタンかマルチエネルギーモニターの[EV接続]ボタンを利用してEVと接続してください。  
EVのドア解除ボタン操作などによりスリープモードが一時的に解除され、予期せずEVが接続される場合があります。不要な接続操作が行われないよう、EVと接続解除したのちは充放電コネクタをEVの給電口から取り外してください。
- ※6 充放電時に車両側での電力ロスが大きいため、車両に充電する場合に十分な電力量がなければ、実際には充電が行われない場合があります。

[自動車に関するお問い合わせ]

- ・BYD Auto Japan 株式会社 ホームページ (<https://byd.co.jp/byd-auto/>)

BYD カスタマーセンター 0120-807-551